

第 2 2 期営業報告書

1 事業概要

(1) 当期の営業状況

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社の第 2 2 期営業概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成 30 年度の大阪経済は緩やかな拡大が続いているが、やや一服感があり、全国的にもおおむね回復基調にあり緩やかな拡大が見込まれていると云われていますが、当社におきましては前期と同様の厳しい経営を余儀なくされたところです。

当期の営業面におきましては、経営基盤の安定を図るため、積極的な営業活動を実施するとともに、新たな補助金の確保など売上増に努めましたが、厳しい結果となりました。

番組編成面におきましては、開局 20 周年記念として特別番組の実施や局イメージの拡大の為、チャオソングのカバー・マスコットキャラの策定等に取り組み、より魅力ある番組にするため、地域イベントなどへの取材を積極的に行い、番組内容の更なる充実とともに、地域との繋がり強化に努めてまいりました。

また、開局以来の課題でありました市域南部及び東南部の難聴区域の解消を図るため、近畿総合通信局の変更許可を得まして送信出力を増力し、より市内での受信エリアの拡大の効果を発揮する為の P R 活動を実施して参りました。

以上の結果、当期におきましては、番組・広告収入を中心に売上高は、前年比 194 万円増の 5,931 万円となりましたが、開局 20 周年特別番組の実施等により、当期純利益は、前年比 225 万円減の -51 万円の赤字決算となり、累積欠損金 1,299 万円となりました。前期に続き単年度黒字を計上することができず赤字決算となったことは、番組作成時での経費が増加した事に起因しており、経営改善の必要性を痛感している処であり、未だ累積赤字の解消に至らない財務状況でありますので、誠に申し訳ありませんが株主配当は、見送らせていただきます。

今後は、経営改善に努め、安定した経営基盤の確立を目指し、組織・体制の改善強化を図るとともに、送信出力の増力により可聴範囲が広がったことを積極的に P R し、新たな C M の獲得など売上増に努めてまいります。

また、「届けます元気と安心、繋げます地域の絆」を活動目標として、行政情報をはじめコミュニティ情報、地域経済産業情報、観光情報など地域に密着した様々な情報の提供を通して、地域住民の皆さんの利便性と安全性の向上、地域経済の活性化あるいは文化の振興に寄与すべく、番組作りに

努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては何卒ご賢察の上、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。